

# 地震発生!

## その時

### どうする??

#### 1 まず落ち着いて身の安全を

##### ①机やテーブルに身をかくす

揺れを感じたら、まず丈夫な机やテーブルなどの下に身をかくしましょう。

●座布団などが身近にあれば、頭部を保護しましょう。

##### ②非常脱出口の確保

●揺れを感じたら、玄関などの扉を開けて非常脱出口を確保しましょう。

##### ③あわてて外へ飛び出すな

●大揺れは1分程度でおさまるので周囲の状況をよく確かめ、あわてて外へ飛び出すことなく落ち着いて行動しましょう。

#### 2 あわてず冷静に火災を防ぐ

##### ①地震?すばやく火の始末を

●使用中のガスの器具、ストーブなどは、すばやく火を消しましょう。

●地震後に避難する場合は、

ブレーカーを切ってから避難しましょう。

●ガス器具は元栓を締め、電気器具は電源プラグを抜きましょう。

##### ②火が出たらまず消火を

●万一出火したら、まず消火器や三角バケツなどの消火器具でボヤのうちに消し止めましょう。

●大声で隣近所に声をかけ、みんなで協力しあつて初期消火に努めましょう。

##### ③狭い路地、塀ぎわ、崖や川べりに近寄らない

●狭い路地や塀ぎわは、瓦などが落ちてきたり、ブロック塀やコンクリート塀が倒れてきたりするので遠ざかりましょう。

●崖や川べりは地盤のゆるみで崩れやすくなっている場合があるので、これらの場所から遠ざかりましょう。

#### 4 避難のテクニック

##### ①避難は徒歩で、持物は最小限に

●避難をするときは、必ず徒歩で避難しましょう。

●携帯品は、必要品のみとして、背負うようにしましょう。

●服装は、活動しやすいものにししましょう。

##### ②津波に注意

●強い地震(震度4程度以上)を感じたとき、又は弱い地震であっても長い時間ゆっくりとした揺れを感じたときは、直ちに海浜から離れ、急いで高台などの安全な場所へ避難しましょう。

●ラジオなどで津波情報をよく聞きましょう。

##### ③崖崩れなどに注意

●急傾斜地域などでは、崖崩れが起こりやすいので、自分ですばやく決断し、ただちに避難しましょう。

#### 5 正しい情報の入手

●テレビ、ラジオの報道に注意してデマにまどわされないようにしましょう。

●不要、不急な電話は、かけないようにしましょう。特に消防署等に対する災害状況の問合せ等は消防活動等に支障をきたしますのでやめましょう。

●役場(防災行政無線)、消防署、警察署などからの情報には、たえず注意しましょう。

#### 6 協力しあつて応急救護を

●軽いケガなどの処置は、みんながお互いに協力しあつて応急救護をしましょう。

#### 7 協力しあつて救出活動を

●建物の倒壊や落下物などの下敷きになった人がいたら、地域みんなが協力しあつて救出活動を行いましょう。

#### 8 自動車の運転中では

●道路の左側か空地に停車し、エンジンを止めましょう。

●警察官が交通規制を行っているときは、その指示に従いましょう。

●カーラジオで災害情報を聞きましょう。

●避難するときは、キーをつ

## 9月4日(日)は“防災訓練”です!

町では、毎年“防災の日(9/1)”にちなんで防災訓練を実施しています。

今年は、9月4日(日)に**横芝地区**を対象として行います。いざという時に適切な行動がとれるよう訓練には、ぜひ参加してください。

けたままにして、徒歩で避難しましょう。

